

「家事シェア」の実態を調査しました!

今回、男女共同参画モデル保育所である金倉保育所にアンケートのご協力をいただきました。アンケート結果から「家事シェア」について考えてみましょう。

年齢層	男性	女性	合計
20～29歳	4	7	11
30～39歳	22	40	62
40～49歳	13	14	27
合計	39	61	100

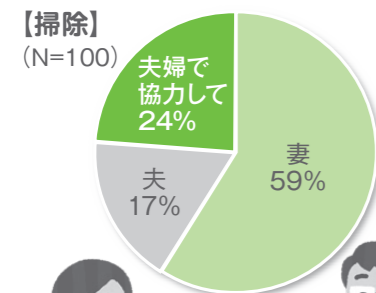
(回答数100人、男女比約4:6)



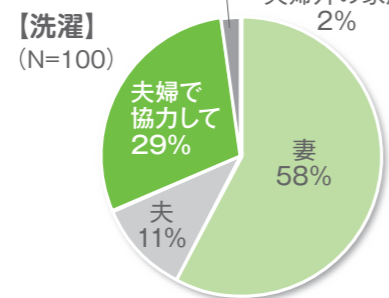
金倉保育所でアンケート結果を報告

ふだん、主に家事をしているのはだれですか

◆掃除、洗濯

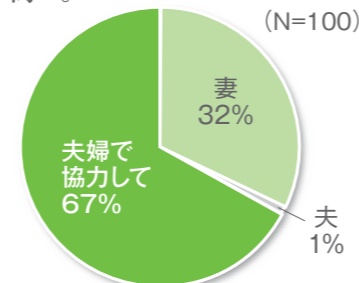


「掃除」「洗濯」については、約6割が「主に妻」が担っているが、「主に夫」と「夫婦で協力して」を合わせると約4割となり、比較的他の家事と比べてシェアしている割合が高い。「掃除」は夫婦共に「時間がない」という人が多い。



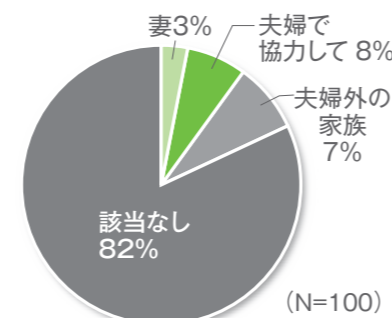
◆子どもの世話・教育

「子どもの世話・教育」は、「夫婦で協力して」が約7割と割合が高い。(N=100)



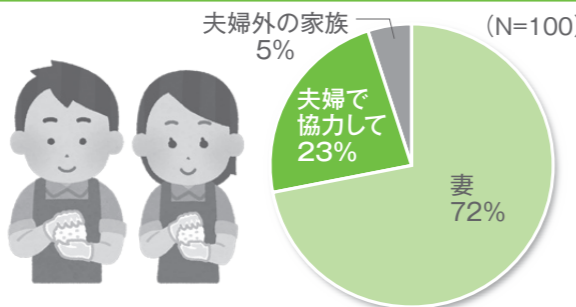
◆家族の介護

「家族の介護」については、8割以上の人現在「該当なし」となっている。(N=100)



◆料理

「料理」については、「主に妻」約7割と割合が高い。なぜ、という理由について、夫は「スキルがない」という人が多い。妻の中には、「自分でしたいから」という人もいた。



自分がするのは面倒だと思う家事は何ですか

パパママ共に、同じような結果がでました。

「家族の介護」については、「料理」とほぼ同じ数の人が1位に選んでいましたが、8割以上の人現在「該当なし」でしたので、将来に対する不安や、心配する気持ちの表れかもしれません。

1位:料理、家族の介護
3位:掃除 4位:洗濯

最も協力してほしい家事は何ですか

1位の「子どもの世話・教育」に関しては、ママが協力してほしいというのが最も多く、前述の質問では「夫婦で協力して」が約7割だったので、協力し合っているが、より深く子どもに関わってほしいという気持ちの表れかもしれません。2位の「掃除」はパパママ共に協力して欲しいという人が多く、3位の「料理」については、ママが協力してほしいという人が多い。

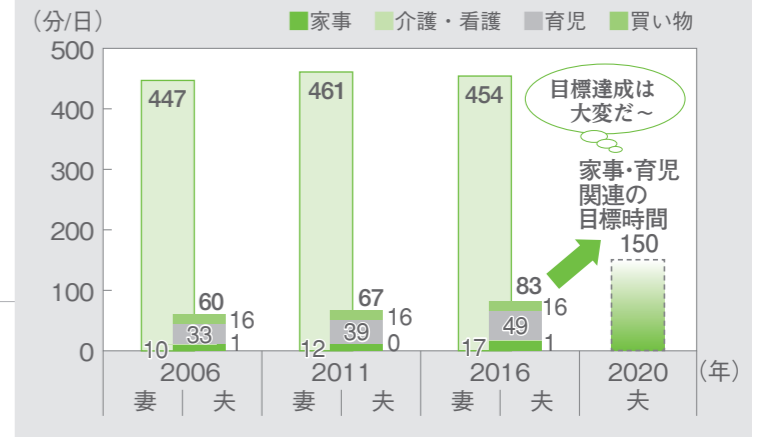


1位:子どもの世話・教育
2位:掃除 3位:料理

男性の家事・育児関連時間の現状

家事シェアの実態とパパママの思いについて、垣間見ることができたと思いますが、家事シェアをするには、どれくらいの時間が必要なのでしょうか。6歳未満のお子さんをもつ家庭における家事・育児関連時間の現状を全国的な統計でご紹介します。

- (備考) 1. 総務省「平成28年社会生活基本調査」より作成。
2. 家事・育児関連時間(太字の値)は、「家事」「介護・看護」「育児」「買い物」の合計(週全体)。
3. 妻は、上記4つの合計時間のみ表示。



理想の朝の家事スケジュール

男性がもう少し家庭に時間を割けるよう、働き方改革を進める必要はありますが、朝の時間は、そう増やすことができません。そこで、今回のアンケートから、朝の家事スケジュールの一例を作ってみました!

吹き出しにあるのが、アンケートから見てきた、家事シェアを上手くしていただくためのエッセンスです。バタバタする朝の家事は、家族でシェアしたいですね。

5:30~6:00
ママ: 起床、朝食の支度
パパ: 朝寝坊させてくれてありがとう! 明日は早く起きようかな (パパ)

6:00~7:00
ママ: 自分の身支度、洗濯物干し
洗濯物は、前の晩にしておくこと... (ママ)
パパ: 子どもの身支度
子どもを起して身支度などは任せてね (パパ)

7:00~8:00
ママ: 朝食(自分)、朝食後の片づけ、連絡帳・検温記入
保育園送りしてくれてありがとう! (ママ)
パパ: 朝食(自分&子ども)、朝食後の片づけ
朝食後の片づけ一緒にしてくれてありがとう! (ママ)
ママ: 出勤!
パパ: 保育園送り、出勤!
便利な家電を取り入れるのも一つの方法

いまから始める家事シェアUP。夫婦や家族で話し合ってみませんか?

◆魔法のシート

日々の家事や育児の項目を洗い出し、どのようにシェアし、お互いに支え合うのがよいのかを確認し合うためのコミュニケーションツール「夫婦が本音で話せる魔法のシート〇〇家作戦会議」が平成28年に内閣府で作成されました。

このシートを活用して楽しく真剣に、これからの2人のこと・家族のことを話してみませんか。内閣府男女共同参画局のホームページよりダウンロードできます。

URL <http://www.gender.go.jp/public/sakusenkaigi/>

